



泉南中だより

平成 30 年 2 月

杉並区立泉南中学校

校長 風見 章



泉南中 HP

学校で学ぶこと（オリンピックを通して） 校長 風見 章

多くの感動と、過去最多の13個ものメダルを取得するという記録を残して、平昌オリンピックが閉幕しました。

皆さんも連日テレビなどの報道を通して日本選手の活躍に一喜一憂されたことと思います。

みごとにメダルを獲得した選手や、残念ながら記録のみを残した選手のコメントに興味がわきました。やはり日本を代表する選手の方々、それぞれ心を打つ談話を披露されていましたね。そこで、気がついたことがあります。

ほとんどの選手が「チームやスタッフのみんな、そして応援してくださった方がのお陰です」「みんなでつかんだメダルです」「仲間との団結が勇気と自信をもたせてくれて」……というコメントを出されました。

したがって「やはり自分の力が勝っていたので優勝できました」「私が頑張ったのでメダルをつかむことができました」などというコメントは皆無。

様々な競技がありましたが、やはり最後はその競技に出た選手の力。周囲がどんな応援やフォロー、ケアをしても出場選手がどうにもならなければ勝つこと、素晴らしい結果は残せません。



でも、みなさん「チームワーク」「団結」「応援」というキーワードを残しています。

また「チームジャパン」という言葉も聞けました。

では……学校に目を向けると

大きな行事、運動会や合唱コンクール前、各クラスの教室を巡ると後ろの壁に大きく「団結」「協力」「チームワーク」「チーム〇〇（担任の名前など）」と書かれた旗や模造紙が貼られています。そんな光景をオリンピック出場選手のコメントを聞いて思い出したのです。

小学校・中学校で学び生活する上で、クラス・学年・学校全体の協力や団結は不可欠なものです。私たち教員もそれを求め指導しています。そしてその精神を身に着けた子供たちがそれぞれの世界、社会に巣立ちますが、大人になってもチームやプロジェクト単位で仕事を進めることができますよね。

今は学校以外の地域で指導される、スポーツクラブチームもあります。そのクラブチームに所属し、同じように協力や団結という学びを得ている生徒も多いですが、学校の生徒全員ではありません。

そのようなことを考えてみると「学校教育の成果」もオリンピックに表れていると強く感じました。日本選手のみなさん、本当に素晴らしい結果と感動をありがとうございました。私たちはみなさんに続く「次の時代の人材」をまた育ててまいります。

さて1月31日から2月3日まで2年生と菅平へスキー移動教室に行ってまいりました。

今年度もインフルエンザや風邪などが大流行し、参加生徒への影響が懸念されましたが、みんな元気に3泊4日を乗り切り、こちらも「スキー技術の習得と向上」そして「3年生へ向けての一層の成長」が見られた移動教室でした。

お陰様で天候にも恵まれた4日間。初心者、初めてスキー板を履く生徒も多いのですが、毎年、4日目午前中、最後の実習では楽しそうに実習に出かけていきます。その上達ぶりには目を見張るものがあるのです。「若いから」もあるのでしょうか、ほとんど毎年出かける私は一向に上達しません、なぜか？。

理由はわかっています。それは私自身が「臆病で怖い」という感覚を持っているからなんです。

もう20年近く前ですが、初めてのスキー移動教室引率中、引率責任者であった教頭先生の命令で、初めてリフトに乗りました。そして、山の上から斜面を見たら足がすくんだのです。そのあと転びながら、文字通り命からがら降りてきましたが、恐怖心しか感じなかったのです。

ふうふう言いながら降りてきて、今来た斜面を見たら、年齢的に幼稚園年中さんくらいの幼児がものすごいスピードで綺麗な滑りで降ります。

びっくりしました。もう慣れているのは一目で判りましたが「怖くないのだろうか？」がその時の印象でした。

生徒の様子を見ていても怖がらない、度胸がある！と感じる生徒は技量の伸びが早く感じます。

そうか、運動神経の良さもあるが、その運動神経を発揮するためには「怖いけどやってみよう」という意欲が第一なんだ……というのも教師をやっていて学んだ大きな事柄でした。

年齢は関係ありません、新しいことを始めるとき「怖くて不安だけどやってみよう！」という思いを持ち続けたいですね。

そして、いよいよ3月。泉南中は卒業式に向かって前進します。

みなさま、まだまだ寒い日が続きます。どうか、ご健康にお気を付けくださいね。

杉並区中学校対抗駅伝大会2017大会 結果報告

12月10日(日)

駅伝大会を通じて、広く区民の間にスポーツを普及・振興させるとともに、青少年の体力向上と健全育成を図ることを目的として、毎年この時期に和田堀公園陸上競技場（済美山運動場）で、区内23校と南相馬市のチームが参戦して行われています。男子女子ともに約10kmを5区に分け5人がたすきをつなぎます。今年の結果です。

男子の部 第11位 33分43秒
女子の部 第20位 41分07秒

選手の皆さん、よく頑張りました。

また、本校放送演劇部が協議アナウンスを担当しました。ご苦労様でした。



引き取り訓練

1月27日(土)

土曜授業（ICT公開授業）の後、シェイクアウト訓練をして、そのまま体育館に避難で、引き取り訓練を行いました。災害時に確実に保護者等の引き取り者に引き渡す手順の確認のために毎年実施しております。今年は約90人の保護者が引き取りに来てくださいました。いつ災害が起こるか分かりません。日頃より様々な場面を想定した訓練を行っているので、ぜひお忙しいとは思いますが参加してくださるようお願い致します。

学校医講話 内科 山川雅之先生

1月29日(月)

今年度最後の第4回学校医講話は、内科医の山川先生でした。ちょうどインフルエンザが流行している時期でしたので、山川先生よりインフルエンザについてのお話をして頂きました。今年はA型とB型が流行っていますが、なんとC型も存在することを知りました。5歳未満の幼児がかかり鼻水のみの症状だそうです。そして、やはり予防については、一般によく言われている飛沫感染予防にはマスクをする、接触感染の予防には十分な手洗いが大切とおっしゃっていました。空気の入れ替えも行って乗り切りましょう。



2学年スキー移動教室 1月31日(水)～2月3日(土)

2年生80名が3泊4日で長野県菅平高原へスキー移動教室に行ってきました。4日間良い天気に恵まれ、級別のインストラクターにびっしり教えていただき滑れるようになって帰ってきました。夜はレクで盛り上がり、時間もよく守り4日間で大きく成長しました。



1学年「杉並探訪」

1月31日(水)

1年生の総合的な学習の時間に、杉並区についての興味や関心を深める目的で、杉並区の魅力を映像で表現する学習を行いました。学年で13班に分かれ、学校近辺で魅力的な撮影場所を決め約30秒の紹介ビデオを撮ってきました。撮影では「湘南メディアネットワーク」のスタッフ5名が指導助言をしてくれました。



1学年「和菓子教室」 2月5日(月)

食育とオリパラ教育の日本人としての自覚と誇りを高めるための伝統・文化の学習を行いました。和菓子職人と研究家の方からご指導いただき、見事に綺麗で美味しい和菓子を作成しました。

